

平成 29 年度 研究成果報告書

Research Achievement Report FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語・日本文化専攻 講師（兼任） 日本語日本文化教育センター 講師（専任）
氏名 Name	村田 真実
専門分野 Academic Field	方言学・社会言語学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	① 日本語教育における方言教育の位置づけ、および、聴解教材の開発 ② 四国東部方言の音声・音韻・アクセントについての調査 ③ 集団的知性及び意志決定ルールに基づく支援ツールの試験的運用
<p>①</p> <p>2017 年 1 月にアンカラ大学（トルコ）にて行った講演「日本語教育における方言教育—方言を通して日本の多様性を知る—」を契機に、日本語教育における方言教育の位置づけについて検討した。日本語学習者が方言教育に何を求めており、教師は何を教授すべきか、理念と実態のズレから考察した。また、方言教育を行う際、学習者がどの段階に達したときが最も有効か、引き続き調査を行う予定である。聴解教材についてはいくつか新しいものを作成したが、まとめる段階には至らなかった。</p> <p>②</p> <p>香川県三豊市詫間町の方言アクセントの低接式について報告した。 村田真実（2017）「香川県三豊市詫間町の 4 拍語アクセントについて：低接式の音声変種を中心に」『音声言語の研究 11 言語文化共同研究プロジェクト』、大阪大学大学院言語文化研究科</p> <p>③</p> <p>基盤研究（B）「集団的知性における類推・分析能力を強化するプロジェクトマネジメント研究」（代表：桐山聡、鳥取大学）の分担者として、支援ツールの試験的運用を行った。また、補足するデータを集めた。</p>	